



伊勢崎市立名和小学校 学校通信 第9号 令和5年 6月28日

名和小だより

学校教育目標 よく考え工夫する子 思いやりのある子 がんばりのきく子
(今年度の重点：新しく挑戦・粘り強く挑戦)



水泳は好き嫌い

得意不得意

6月1日のプール開きでは児童を代表して体育委員長・副委員長に参加してもらい安全祈願をしました。今シーズン、事故なく子ども達が安全に取り組めるようご家庭での健康観察等、ご協力をお願い致します。

水泳という種目は、苦しいことに挑戦していくことが多い競技でもあります。顔を水につけること、目を開けること、息を吐くこと、吸うこと、息継ぎをすること、長い距離を泳ぐこと等、どれも簡単にできることではありません。誰もが覚えていると思いますが、初めて顔を水につけるときの度々何度もかけ声をかけてようやく一瞬だけ顔を入れることができたのではないのでしょうか。今、子ども達はプールで自分の気持ちと戦いながら頑張っています。そして、何よりも苦しいと分かっているが授業から逃げることなく挑戦をしています。一人ではできなくてもそこには仲間がいるから挑戦もできています。水泳の授業があった日などは、是非お子さんからプールの話を聞いてあげてください。水泳が嫌いな子、苦手な子であれば、プールに入ることすら勇気のあることでもあります。できたできないではなく頑張ったことを認めて褒めてあげてください。勇気を持って自分から挑戦ができる、そんな強い気持ちを持ってほしいです。



4年福祉 体験学習

4年生の総合の学習では、福祉の学習に取り組んでいます。1学期に車いすとブラインドウォークの体験学習を行います。2学期には点字やパラリンピックの元選手からの話を聞いたりします。

体験を通して、それぞれの大変さを感じるのと同時に、周囲にいる人がどんなことをしてあげればよいのか、また、どんな環境を作っていくことが必要なのか

考える機会にもなりました。子ども達には障害があるなしに関わらず、誰もが生活しやすい環境、お互いの気持ちを考えた行動が取れる人になってほしいものです。





1年 校庭たんけん

6月16日（金）1校時から3校時にかけて1年生が南校庭で元気に過ごしました。1年生はまだ、南校庭では遊んだことがありません。実際、1年生の教室から上履きを履き替えて、南校庭の南端の遊具までいこうとすると5分近くかかっています。その遊具で思いっ

きり遊べるのですから、みんな、素晴らしい笑顔で汗をかきながら遊んでいました。遊具で遊んでいる子もいれば名和の森で虫探しをしている子もいました。遊びの中で順番を待ったり、遊び方を決めたりしながら、生活の中での大切な学習もしていました。



栄養士さんによる食育指導

給食調理場より栄養士さんが学校に来て、発達段階に合わせた食育の指導をしてくれます。今年度は既に1年生と4年生が給食の時間にお話を聞きました。

1年生は初めての給食ですので、この給食がどのように作られて、どのように運ばれてきているか、みんなの所に届くまでに関わってくれている人のお話でした。4年生には、ゆっくりとしっかり噛むことの大切さについて教えてくれました。

- 肥満防止 ○味覚の発達 ○言葉の発音 ○脳の発達
- 歯の病気予防 ○胃腸快調 ○全力投球

しっかり噛むというのは口に入れた物を20回から30回ぐらい噛むことだそうです。沢山噛むことでこんなに沢山の良いことがあります。誰もが毎日やっていることでだけに、これらを意識して食べられるようになれば、色々なところによい影響がでてきそうです。



放課後も頑張る子ども達

今、名和小では放課後に「放課後子ども教室」と「囲碁教室」が開催されています。「放課後子ども教室」は3年生を対象に、「囲碁教室」は全校児童を対象に年度当初に参加希望者を募り、年間を通した活動を実施しています。指導をして下さっている



のは地域の方々です。どんな活動をするか、地域の方が事前に打ち合わせをし、試作したりしながら子ども達が毎回楽しめるように工夫して下さいます。参加している子ども達が全力で取り組み、頑張る姿を見せることで地域の方々もそのパワーに負けないように頑張ってくれています。

